



決算説明資料

2023年12月期 第1四半期

ISB CORPORATION

証券コード：9702

株式会社アイ・エス・ビー

連結損益計算書 (2023年2月28日時点開示より上方修正)



DX化の影響により引き続きIT投資需要が高まる中、モビリティ、ビジネスインダストリー、エンタープライズ、プロダクトの4分野すべてにおいて受注が堅調に増加し、前年同期比増収。調達コスト上昇や、営業活動の拡大、技術者の採用・教育費用の増加を吸収し、利益も前年同期比増益と、第1四半期の業績において創業以来の最高業績を更新。通期業績予想を上方修正。

(単位：百万円)

	第1四半期				通期予想		
	2022年	2023年	増減	前年同期比	前回予想	今回予想	増減
売上高	7,056	8,366	1,310	119%	30,000	31,000	1,000
営業利益	695	1,030	335	148%	2,400	2,600	200
営業利益率	9.8%	12.3%	2.5pt	-	8.0%	8.4%	0.4pt
経常利益	697	1,042	345	149%	2,430	2,645	215
親会社株主に帰属する 四半期純利益	445	579	134	130%	1,440	1,590	150

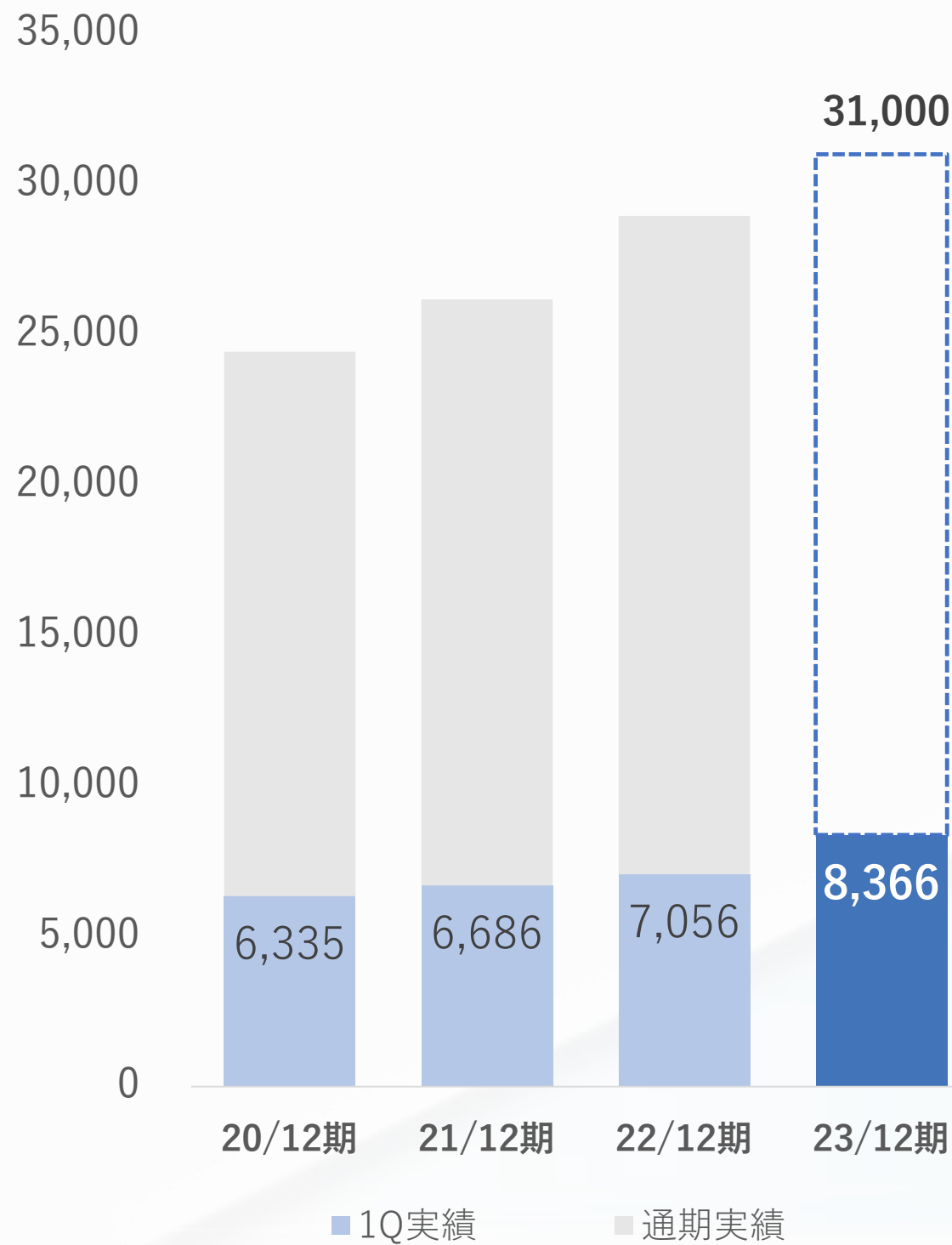
連結損益の推移



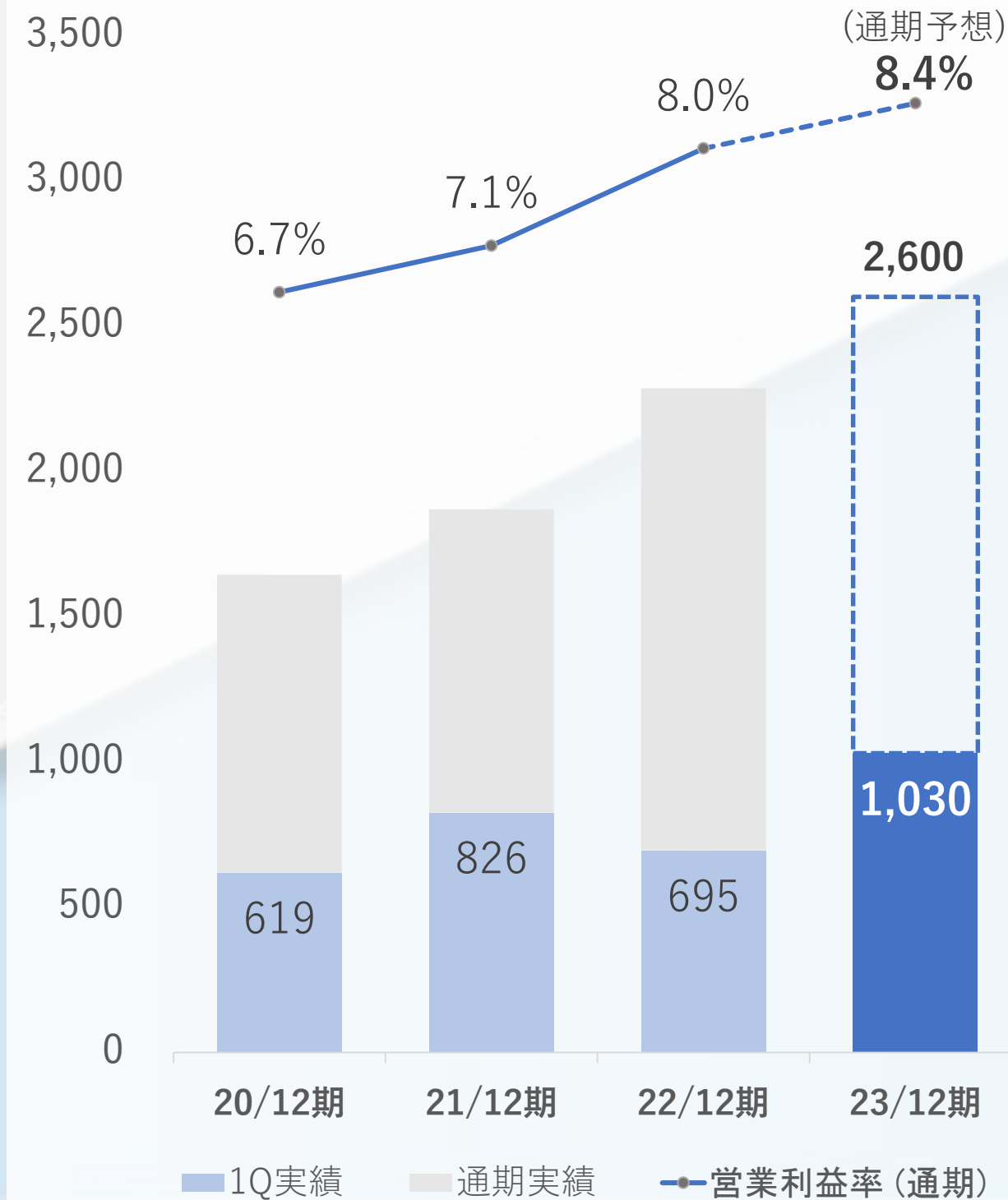
第1四半期の業績において創業以来の最高業績を更新

(単位：百万円)

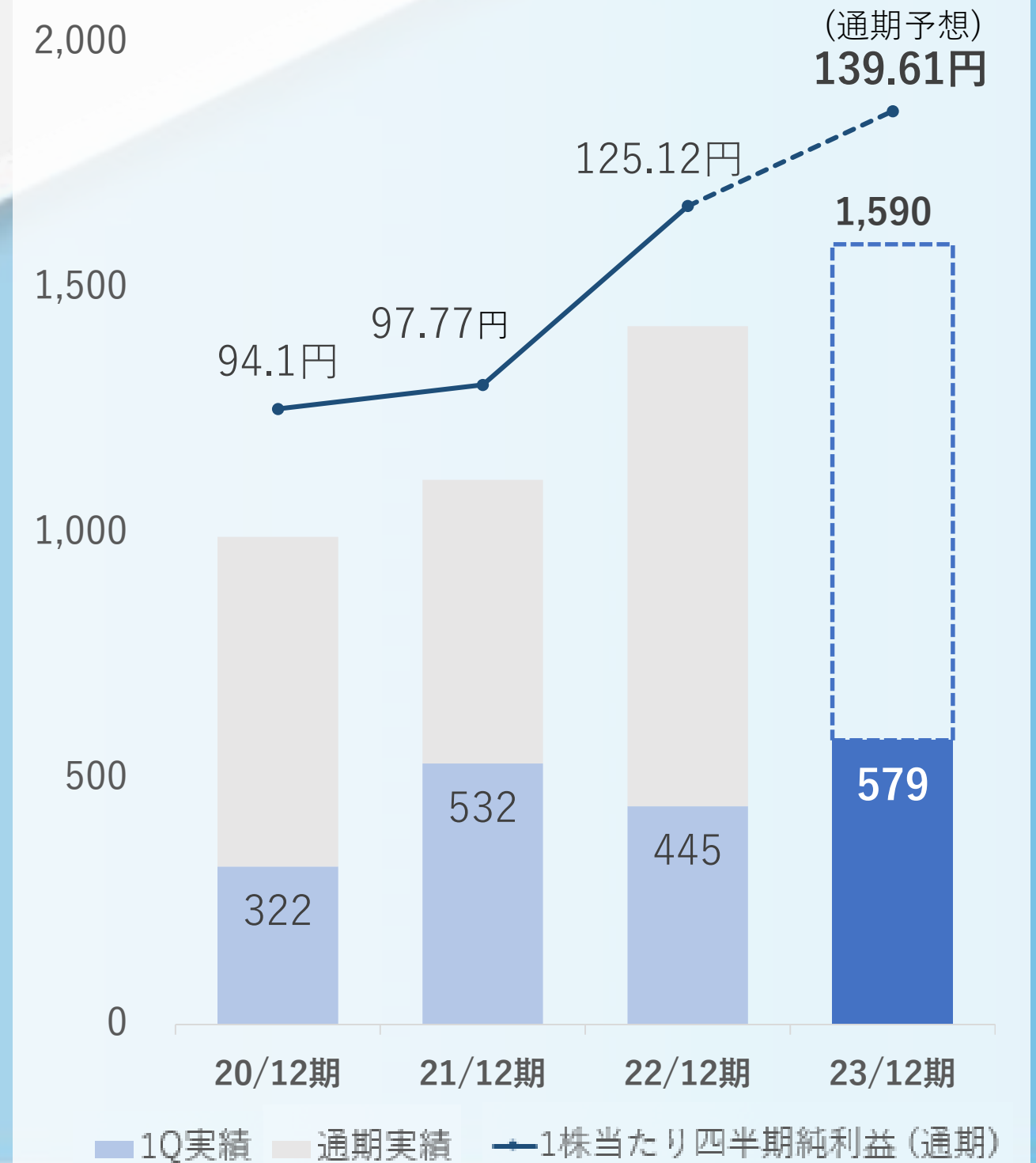
売上高



営業利益



当期純利益

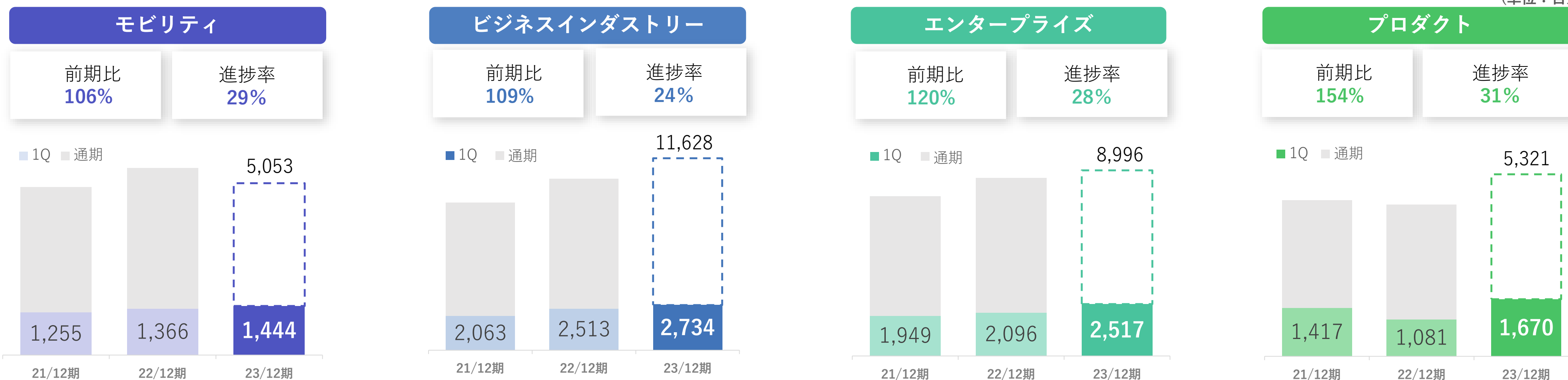


事業分野別売上高



モビリティ	<p>車載系は、既存顧客からの受注が引き続き堅調。</p> <p>縮小計画の携帯端末・5Gは、縮小幅を最小限に維持。潤沢な車載・通信分野に受託案件をシフト。</p>
ビジネスインダストリー	<p>D X 需要は、引き続き旺盛、業務システムの受注が堅調。特に医療系は、既存顧客の受注拡大・新規開拓案件ともに好調。</p> <p>組込み系は、IoT機器関連の受注が堅調。</p>
エンタープライズ	<p>インフラ系は、半導体の供給が回復傾向にあり、機器更改の案件が復調。既存顧客を中心に受注拡大。</p> <p>金融系は、既存顧客からの受注が引き続き好調。公共系は、新規案件獲得あるも全体では横ばいと堅調。</p>
プロダクト	<p>セキュリティ関連事業は、部品供給不足の影響は残るものの、主力製品販売が回復傾向にあり受注拡大。リカーリング製品は、堅調に推移。MDM事業は、機能強化やキッティングサービス拡充等により堅調。新製品の高精度測位ソリューションを販売開始。</p>

(単位：百万円)





本資料は、2023年12月期第1四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めていただくことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2023年3月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。